

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2018年

2月

150号



宗教法人 真生会

平成三十年信仰目標

徳分を高める

『聞いた教えを

すぐ伝えよう！』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

ご真教法話

会長 田 中 庸 仁

◇人間生活は成仏への道

私たち人間は、生物分類学的には「動物界、れいちようもく霊長目（サル目）もくヒト科ヒト属ヒト」と言います。人文社会的には「人間」といい、社会生活を営み、人ととの関係性の中で生きています。

私たちは誰も「人間生活」を営んでいます。人の間に生まれて活かされているのです。つまり、すべての人間は、父という人、母という人の間に生まれ、社会生活の中で多くの人と出会い、その関係性の中でそれぞれに学び成長していきます。これを仏教では「諸法無我」といい、人は孤立して生きることとはできないのです。そして、人間生活を通じて人格を磨き上げ、人格が完成されたことを「成仏」といい、人格の完成された人を「覚者、仏」というのです。

ヒト科の中でもピテカントロプスやネアンデルタール人は滅んだのに、現在の人類である我々ホモサピエンスが生き残った大きな要因の一つは、発達した

言語を持ち、コミュニケーション能力が格段に優れていたからだと考えられています。そうだとすれば**会話の少ない家庭や会社などは、絶滅危惧種**といえます。しかし、今世界は対話や協調というコミュニケーションよりも、極端な自国ファーストにより、自国の利益が優先され、平和が脅かされ始めています。個人生活のレベルにおいてもITの発達により、顔の見えない遠方の人と瞬時に繋がるグローバル化が飛躍的に発展した半面、家庭や会社の中においてはスマホ三昧となり、すぐ目の前にいる身近な家族や仲間との言葉のやり取り、コミュニケーションが希薄になってきています。それにより、お互いの理解が低下し、戦争や不仲、家庭内孤立が進みつつあります。地球の歴史を大きく俯瞰すれば、コミュニケーション不足による核戦争や気候変動による人類滅亡の危機が迫っています。

個人においても表面的には物質的幸福に恵まれた現代社会に孤独や孤立という家庭崩壊の危機がひたひたと迫ってきているのが現実ではないでしょうか。一見幸せそうな家庭生活にも、将来の不安を何となく感じている人が多いのではないのでしょうか。

◇家族って何なの、埋葬の在り方を考える

筆者も昨年還暦を迎え、人生の第3コーナーに差し掛かり、還暦同窓会がいくつもありました。何十年かぶりに会う同級生同志が「昔と少しも変わらないな」と言いながら、一気にタイムスリップし旧交を温めました。まさに諸法無我の醍醐味だいごみでした。互いに同じように年を取ったのだから、変わって見えなへんぼういのも当然ですが、大きく変貌を遂げた友人も多くなりました。

楽しい昔話に始まり、年相応に健康の話、孫や老後の話、終活の話にも及び、ある女性の同級生が、私が宗教者であることを知って尋ねてきました。

「田中君、私は死んだら、樹木葬がいいんだけど、どこかい所知らない？死んだ後、お墓の維持で子供たちに迷惑かけたくないし…」との質問です。

「ご先祖のお墓はないの？あなたは跡取りの嫁なのか、新家の嫁なのか。どっちなの」と聞き返すと、

「跡取り長男の嫁だけど、死んだ後までも姑や夫と一緒にいるのは嫌だから」「私もそうしたい」と賛同する女性が数人おり、聞いて哑然あぜんとしました。家族の人間関係があまりうまくいっていないんだ。これまでの人生、あまり幸せ

じやなかったんだなあ！とちよつと気の毒に思いました。

すると、隣に座っていた中学で女性校長をやっているという同級生が「田中君、私は主人の親と同居しているけれど、親やご先祖様や目に見えない神仏の存在は大切だと思うわ。そういうことを子供たちにしつかり教えなくてはいけない」と思っているわ」との言葉に胸を撫で下ろしました。

手前味噌ながら、私の高校は地元ではそこそこの通った進学校で同級生の90%以上が大学に進学しているのですが、人間性や家族の信頼性に学歴は正比例しないのだと改めて愕然がくぜんとしました。

子は親の後ろ姿を見て育つといいますが、手本となる親や学校の先生が何を教えるかが如何に大切であるかを痛感しました。

◇葬儀の在り方

家族葬きずな《絆》という名のセレモニーホールがあります。近親者だけの葬儀のための施設です。最近増えてきました。故人には家族のあまり知らない人間関係もあり、どこに誰にまで連絡していいのかわからない。仕事関係で義理で来られる人もあるし、本当に懇意であった他人様もあるでしょう。遺族にとつ

ては大きな負担に感じられるかもしれませんが、本当に家族だけの近親者でいいのか考えさせられます。家族葬の名の下で、町内や同僚、知人友人という家族以外の人との絆が切られてしまうことに違和感と空しさを感じます。

遺族のよく知らない人への応対や香典返しの大変さなどがあるので、香典や供花を辞退される葬儀も増えてきました。受付で香典の金額を確認し、その場で香典返しを渡される斎場も増えてつゝあります。最初は違和感がありましたが、後の大変さを思えば許容範囲内です。最近香典のドライブスルーまであるそうです。理由の如何はあるでしょうが驚きです。

世の中は合理性だけでは成り立っていかないと思います。昔から「鳥は木に住み、魚は水に住み、人は情けの中に住む」といいます。

私事ですが、先日真生会の会員でもあり、よくお参りしてくれていた明るく元気な叔母が亡くなりました。跡取りの従弟から連絡があり、突然のことで驚きました。葬儀にあたり、故人も享年七十九歳ということで、こじんまりと近親者だけで送るつもりなので、訃報ふほうがあまり広がらないようにとのことでしたが、「そんな訳にはいかない。私の子供たちや兄弟、ご縁のあった真生会のご

信者さんには連絡させてもらうよ。迷惑はかけないようにするから」と伝えました。そのせいか通夜や告別式には、久しぶりに会う叔父や叔母、何年かぶりに会う従弟たちや成長したその子供たちが大勢参列し言葉を交わし親戚の絆を感じました。

ご迷惑のかからないように田中家の身内や真生会からの参列者の人数はお知らせしておきました。通夜、告別式共に親戚や真生会の法友、そして叔母の多くの友人が参列され、椅子が足りなくなるほどでしたが、遺族も改めて喜んでいました。

最近の時流で叔母の生前の写真がビデオで放映され、多くの友人がいたことや家族や兄弟でよく旅行に行っていた姿を見て、ご苦勞を越えて幸せな人生だったなあと心温まる思いでした。

◇身近な所から法を伝える

葬儀の受付を一人前に成長した叔母の内孫、外孫の男の子たち四人が凛々しく務めていました。お斎とき（葬儀や法事の時振舞われる食事）を頂くとき、ちょうど内孫、外孫の長男が二人同席しましたので、「今日はお父さんやお爺さん

を助けてよく頑張っているね」と労をねぎらい、続けて言いました。「葬儀の喪家を務めることなどはめったにないことだから、こういう時にしっかり覚えておくといいよ。喪主のお父さんは参列者への対応や斎場との打ち合わせなど、自由に動けないことが多いから、あなたたちは言われたことだけをやっているのではなく、逐次報告し次にやることはないか、何か気づくことはないかなど、自分の方から確認に行くといいよ。指示待ちのおお客様になっいてはいけないよ。報告、連絡、相談の報連相をしっかりやるようにね。きつと力がついて、こういう経験が職場でも社会でもきつと役に立つ時が来るから、人生学ぶべき時にしっかり学んだ人と、ボツとして楽しんで過ごした人の差は、いざという時にはつきり出るからね。お父さんの動きやされることをよく見て覚えておくことだよ。」と老婆心ながら伝えました。「はい、わかりました」と食事を済ませると、早速に動き始めました。

「よく教えればこれに従う」「鉄は熱いうちに打て」の格言の通りです。若くて心が素直なうちに、誉めて教え伝えるのが先輩や大人の役目です。仏さまの教えや日本の良き伝統や文化を絶やさないうよう伝え繋いでいきましょう。

今月の運勢（3月）

（2018年3月6日～4月4日）

一 白水星

善なること、正しいことをコツコツ続け、親しみやすく従順な姿勢に、これまであまり親しくなかった人まで多くの人が集まる。速やかに手を握り、地固めの時である。但し遅れて来る人には要注意。

二 黒土星

一陽来復。壊れたものが元に戻る。小さな可能性や善い事を根気よく育てれば、枯れ木に花が咲くごとく復活し、去った人も戻る。何事も大いに積極的に行動すれば吉となる。

三 碧木星

順風満帆の時だが、調

子に乗った軽率な言葉

は思わぬトラブルを招くので要注意。互いの長所を発揮し、動機が正しく、正しい方法を継続すれば何事もうまくいく。変化への備えも怠らぬよう。

四 緑木星

過去二か月間めまぐるしく活動的に過ごして来たが、今月は行動よりも熟成の時である。正月以来忙しく突き進んで来た行動パターンを修正しエネルギーを蓄え、次の段階に向けて生活を落ち着けよう。

五 黄土星

充実した月となる。進めてきた課題を整理完

成し一区切りをつけよう。信頼できる上の者

に相談し、スピード感を持つて臨むこと。ドラマとしていたら折角の成果が無となる。

六 白金星

柔よく剛を制する。素直で邪心のない喜びは、無敵の剛に対しても無類の力を発揮する。互いが自分の分際をわきまえ、進む道を間違えなければ、万が一の非常事態も越えられる。

七 赤金星

感動の力、意気に感じる力がことを動かす。ブレることのない正しい信念と無我無私の公

正公平の姿勢に人が感動して動いてくれる。

動機が正しければ願いは必ず通る。変化の時。

八 白土星

太陽の下にありながら、日が当たらない不遇の時である。能ある鷹は爪を隠す。明知を内に秘め、人の意見に耳を傾け、志を失わず時を持てば吉となる。

九 紫火星

未完成には魅力と可能性が秘められている。いかなる困難も目標を明確にして諦めずに進むならば、必ず願いは通る。それぞれの本分に沿って力を発揮することを心掛けよう。

しあわせ眼鏡

いま手にしているものは
いずれ無くしても
未来だけは残る
いま手にしているものに
固執して
大切な未来の可能性を見失っ
てはならない
あきらめなければ、必ず光り
は見えてくる

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5
T E L 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。